

公開シンポジウム「大学院教育から考える高度実践看護師教育のあり方意見交換会」

主 催：日本学術会議健康・生活科学委員会看護学分科会

共 催：日本看護系学会協議会

日 時：平成 25 年 3 月 30 日（土）11 時 00 分～12 時 30 分

場 所：新大阪丸ビル別館 5－2 号室

開催趣旨：

看護学教育の高度化は急速に進み、裁量権を拡大してその専門性を発展させる時代が来ています。安心安全の医療を国民に提供するために、裁量権の拡大によりスキルミックスをすすめる、医療の質向上を推進できる人材育成を保證するカリキュラムや資格認証制度について十分な討議が必要です。将来を見据えた意見交換会を行いたいと思います。

次 第：

11:00 ご挨拶・趣旨説明

太田喜久子（日本学術会議会員、慶應義塾大学看護医療学部教授）

11:10 話題提供と意見交換

① 我が国における APN を目指した教育実践実例

野川道子（北海道医療大学護福祉学部 看護福祉学部研究科科長）

塚本容子（北海道医療大学護福祉学部 看護福祉学部研究科教授）

② APN 大学院教育での病態、薬理、フィジカルアセスメント科目の導入における課題

井上智子（日本学術会議連携会員、東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科教授）

③ APN 大学院教育におけるコアと実践を保證する教育とは

クローズ幸子（亀田保健医療大学教授）

④ がん看護学領域の高度実践を保證する大学院教育とは

内布敦子（日本学術会議連携会員、兵庫県立大学看護学部教授）

12:00 総合討論

12:30 閉会 野嶋佐由美（日本学術会議連携会員、高知県立大学看護学部学部長）

～本シンポジウムに関する問い合わせ先～

兵庫県立大学看護学部内布敦子研究室

メールアドレス a_uchinuno@cnas.u-hyogo.ac.jp